

櫛形北小だより



本校HP

学校教育目標「ゆたかな心もち たくましく生きる」

<http://www.kita.m-alps.ed.jp/>

今年、櫛形北小は創立60周年

発行：校長室 2018. 9. 18 (No. 5)

運動会の練習すすむ 本番9月22日(土)まであと少し



9月4日(火)より特別日課が始まり、運動会の練習が毎日続けられています。今年の運動会は、創立60周年の運動会です。児童会で決めたテーマも「赤白1つに60周年の絆を深めよ

う！」です。

各学年の競争競技や、低・中・高の表現、全校たてわりで行う競技など見どころはいっぱいです。

60周年を記念する内容も入っています。その詳しい内容は当日のお楽しみです。保護者の皆様の盛大な応援をよろしくお願いします。

櫛形北小みまもり活動

北地区では、昨年度も今年度も、何度か不審者が出て、子どもたちが怖い思いをしています。

学校では、防犯教室や下校指導を通して、不審者への対応を指導していますが、不審者の出現を防ぐことにはなっていません。1学期には児童の防犯ブザーの所持状況を調べて所持を呼びかけました。また、不審者が出た時には職員でパトロールもしてきました。さらに、もっと何か不審者の出現を防げる方法はないものかと検討をしてきました。



いくつかの学校ですでに取り組んでいる方法に、見守り活動というものがあります。ご近所に行くとき(回覧板を届けるなど)、ウォーキングをするとき、畑や田んぼで作業をするときなど、無理のない範囲で大人の方に「反射たすき」を身につけていただき、地域で子どもたちの安全を見守っていることをアピールしていただく活動です。もちろん、可能でしたら、児童の下校にあわせて家の前や近くで、児童をみまもっていただけたらと思います。お父さんやお母さんは夕方までお勤めをされている方が多いので、お家にいらっしゃるおじいちゃん、おばあちゃんの協力もいただけるとありがたいです。

このような活動について、9月5日(水)のPTA理事会で提案をしましたところ、理事の皆さんにも賛同をいただきました。各家庭に反射たすきを1本ずつ配布できるように、現在、学校で準備をしています。準備ができ次第、お配りします。可能な範囲で、できる方が、できる時間帯に、

ぜひご協力をいただけますようお願いします。

前期の学校評価をまとめました

1学期末、保護者の皆様や児童全員にアンケートをとり、私たち教職員の自己評価も加えて、さらに学校関係者評価委員の皆さんの意見も入れて、前期の学校評価をおこないました。

最終的に「2学期以降に向けての改善ポイント」として、次のようにまとめました。

①学力の向上……今年度も保護者アンケートの結果において、学校に力を入れてほしいこととして「わかりやすい授業をする」が一番に挙げられている。保護者の方々の学校への期待が教師の資質向上・児童の学力向上に向けられていることがよくわかる。一方自己評価のすべての項目の中で一番課題となるのが、「評価規準の設定と適切な評価方法を明確にした授業」についてである。各教科の特性と児童の実態を捉えながら、まずは「児童に身に付けさせたい力」を明確にし、授業改善を図っていく必要があると考える。全国学力学習状況調査や県の学力把握調査の結果も生かしながら、課題の残る内容を積極的に授業の中に取り入れる必要もある。本校では「復習ノート」の取組、「放課後学習教室」の取組も行っているため、それらの機会を有効に活用し、児童の学習習慣も伸ばしていきたいと考える。

②教師の価値観と対応をそろえる取組み……保護者アンケートの結果において、学校に力を入れてほしいこととして「社会のルールや決まりを守る指導に力を入れる」が、わかる授業とともに高い要望事項となっている。楽しい学校となるためにもわかる授業を行うためにも、まずは、学級、学年内の学級集団がよい学習集団として育つことが求められている。そのための指導について、全教職員が確固たる姿勢を持ち共通意識をもって継続して取組んでいく。ここ数年、市でも小中連携に向けて力を入れてきているところなので、職員の共通理解のもと、児童指導に当たることは重要である。「北小スタンダード」を中心に、共通の行動様式を育てていきたい。

③行事や活動を通して伸びていく児童の育成……北小の児童会活動、縦割り班活動、委員会活動などで、児童に身に付けさせたい力を確認し、児童の自主的・自律的活動になるようにする。

④不登校やいじめの未然防止への取組……継続して特に力を入れていかなければならない。そのためにも、普段から児童の様子を細かく見ていることはもちろんだが、Q-U検査・アンケートなどを活用し、早期発見・迅速対応を心掛けていく。また学校いじめ防止基本方針を踏まえ、組織的に早期発見に努め、いじめがあった場合は、組織的に対応し、状況によっては、関係機関と連携し迅速かつ適切に対処していく。定期的にいじめ未然防止会議などを行い、職員間の連絡を密にとると共に、長い夏休みの後である2学期のスタートは、児童の気持ちや生活のリズムを早く取り戻せるように、特に細心の注意を払っていきたい。

⑤保護者・地域との連携……これまでの情報発信の成果を生かしながら、本校児童の活動の様子や成長の様子を具体的に示すことができればさらに家庭や地域との連携が深まると考える。2学期は運動会やドレミファ発表会など児童の活躍の場が多くあるので、それらの行事を通して積極的に学校教育の成果を公開していきたい。

⑥地域教材の活用や道徳教育・英語教育のカリキュラム編成……今年度実施の様子を生かしながら、学習指導計画に具体的に盛り込む内容を検討し準備や実践を行っていく。これまで活用してきた地域の教材を整理し、情報交換を行う。

アンケートからあがってきた保護者の声・評価数値を真摯に受け止め、(1)可能なことから実施していく (2) 連絡を密にしていく (3) 取り組んでいることとその経過や成果を知らせていくなどが大切である。

学校評価の詳細については、9月末に楡形北小学校のホームページに掲載します。